

第1学年道徳科学習指導案

令和3年11月11日(木)

1学年4組 30名

授業者 大林 未来

わくわく・どきどき・チャレンジ蔵前

目指す児童像

自分の考えを伝え合い、楽しみながら学ぶ子

1 主題名 やるべきことを しっかりと A 希望と勇気、努力と強い意志

2 ねらいと教材名

(1) 本時のねらい

一生懸命に自分の仕事をする西山さんの気持ちを考えることを通して、自分のやるべき勉強や仕事をしっかり行おうとする心情を育てる。

(2) 教材名

「カバえんちょう」

(出典：かがやけみらい しょうがっこうどうとく1ねん きづき・まなび 学校図書)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値

児童が一人の人間として自立し、よりよく生きていくためには、常に自分自身を高めていこうとする意欲をもつことが大切である。そのためには、自分の目標をもってその達成に向けて粘り強く努力するとともに、やるべきことはしっかりと行おうとする気持ちを養っていくことが必要であると考えられる。

本授業では、不遇な中でも仕事を頑張り続けることができた西山さんの気持ちを話し合うことから、目標のために努力を重ね、頑張り続けるよさを感じ、自分のやるべきことをしっかりと行おうとする心情を育てたいと考える。

(2) 児童の実態

略

略

(3) 教材について

本教材は、動物が大好きな西山さんが、動物園でトイレ掃除や動物たちの部屋の掃除等、自分の仕事を自覚し、大変な仕事も自分の仕事として頑張った結果、立派な飼育係となり、後に新しい動物園の園長になるという話である。児童には、周囲の人から悪口を言われても、懸命に掃除を続ける西山さんの気持ちを考えさせる。そして、自分のやるべきことをする時には、どんな気持ちでやっていきたいかを考えることを通して、強い気持ちをもってしっかりと行おうとする心情を育てたい。

4 研究主題に迫るための手立て

(1) 本時において「学びに向かう力」が見られる児童の姿

- (★1) 登場人物の簡単な紹介をした上で、教材提示をすることで、登場人物や教材に興味をもち、想像を膨らませ、関心をもって学習に取り組もうとする姿。
- (★2) 役割演技をする中で、自分と友達の考えを比べたり、友達の考えの理由を想像したりすることを通して、一生懸命に仕事をするときの気持ちを考える姿。
- (★3) ワークシートに書く活動を通して、自己の経験を振り返り、これからの生活に生かそうとする姿。

(2) 「学びに向かう力」を向上させるための工夫

手立て①教材と出会い、学びのイメージを拡げる工夫

- ・登場人物の簡単な紹介を通して、学習への関心をもたせる。また、場面絵を電子黒板で映し、場面を一つずつ丁寧に確認することで、登場人物の気持ちや様子を感じながら想像を膨らませて、児童が教材文への関心を高め、理解を促すことができるようにする。

(「理解の問い」)

手立て②友達と関わり合って学び合う環境の工夫

- ・役割演技を行うことで、西山さんの気持ちを疑似体験を通して実感させる。
- ・2面の西山さんメダル（困り顔・笑顔）を付ける。役割演技では掃除用具を使い、西山さんになりきって気持ちを発表し、考えを交流させる。
- ・ハンドサインを活用し、自分の考えを友達に伝えるようにする。

(「関連の問い」)

手立て③学びを自覚し、次の学習につなげる工夫

- ・これまでの自分を振り返り、自分のやるべきことをする時は、どんな気持ちで取り組んでいきたいのかをワークシートに記述させる。

(「振り返りの問い」)

5 学習指導過程

	<p>学習活動 ○主な発問◇中心発問・予想される児童の反応</p>	<p>◎指導上の留意点 □評価 ・手立て ★「学びに向かう力」が見られる姿</p>
<p>導入</p>	<p>1 教材の内容に興味や関心をもつ。 ○あなたにとって、「やるべきこと」は、何でしょう。 ・宿題 ・給食を残さず食べること ・係の仕事 ・給食当番の仕事</p>	<p>◎ねらいとする価値への方向付けをし、学習する内容に関する思いを広げさせる。</p>
<p>展開前段</p>	<p>2 教材「カバえんちょう」の場面絵を見ながら、教師の範読を聞く。(電子黒板) (「理解の問い」)</p> <p>3 教材をもとに、西山さんの気持ちを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>○「はじめは、おきゃくさんのトイレそうじだよ。」と言われたとき、西山さんはどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>・動物の仕事をしたかったのに。 ・なんでトイレ掃除をしないといけないのだろう。 ・動物が好きだから来たのに。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>○西山さんは、どんな気持ちでお客さんのトイレを毎日毎日、一生懸命掃除したのでしょうか。</p> <p>・トイレそうじは、ちょっと嫌だな。 ・喜んでほしいな。きれいにするぞ。 ・気持ちよく動物園に来てほしいな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>◇西山さんは、「きたない」と言われても、掃除を一生懸命に続けました。どんな気持ちだったでしょう。(「関連の問い」)</p> <p>・大好きな動物のためにがんばるぞ。 ・動物のお世話ができて、幸せだな。 ・どの仕事も、動物のことがよくわかって楽しいな。 ・これが私の仕事だからやろう。</p> </div>	<p>◎場面絵を見せながら範読することで、登場人物の気持ちや様子を感じながら、想像を膨らませ、児童が教材への関心を高められるようにする。 ・手立て① (★1)</p> <p>◎西山さんの困り顔メダルを付け、気持ちを考えられるようにする。 ◎楽しいことばかりではなく、嫌な仕事もあったことを把握させることで、やるべき仕事を最後まで続けた西山さんの頑張りが、より伝わるようにする。</p> <p>◎西山さんのメダルのどちらの面を出すかは、児童が決められるようにする。 ◎西山さんが戸惑った顔から、笑顔で仕事を続けるようになった表情の変化にも気付かせる。 ◎不満は少しあっても、動物やお客さんのために掃除を頑張ろうとした西山さんの気持ちの変化を押さえる。</p> <p>◎西山さんの笑顔メダルを付けてペアで役割演技をし、西山さんの思いを疑似体験を通して実感できるようにする。 ◎自分と西山さんを関連付けて考えられるようにする。 ◎全体では、お客さん役は教師が行い、児童には掃除道具を持たせ、役割演技をしながら西山さんの気持ちを発表させる。 ・手立て② (★2)</p> <p>◎主発問後に、教材 p 6 3 を読み、西山さんがやるべきことを続けた結果、どうなったのか伝える。</p>

<p>展開後段</p>	<p>4 自己を見つめる。</p> <p>○あなたにとって、やるべきことは何でしょう。どんな気持ちでやっていきたいですか。</p> <p>(「振り返りの問い」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大変だけど、最後までがんばるぞ。 ・忘れないで、自分からやろう。 ・いっぱい食べて、残さないぞ。 	<p>◎自分の経験を思い出して記述させる。家族や友達の応援・称賛があったことも感じさせる。</p> <p>□自分自身を振り返ることを通して、自分のやるべきことをやり遂げようとする気持ちを高め、これからの生活に生かそうとしている。</p> <p>(ワークシート・発言)</p> <p>・手立て③ (★3)</p>
<p>終末</p>	<p>5 教師の説話を聞く。</p> <p>教師が小学生の時に、やるべきことを頑張り続けた経験を聞く。</p>	<p>◎教師が説話をし、自分のやるべきことを主体的に行おうとする気持ちが高まるようにする。</p>

6 板書計画・ワークシート

やるべきことを・・・

- ・たいへんだけれど、さいごまでがんばるぞ。
- ・わすれないで、じぶんからやろう。
- ・いっぱい食べて、のこさないぞ。

場面絵 4

- ・どうぶつのおせわができて、しあわせだな。
- ・どうぶつのがことがよくわかってたのしいな。

場面絵 2

- ・トイレそうじは、ちょっといやだな。
- ・よろこんでくれたらいいな。きれいにするぞ。
- ・きもちよくどうぶつえんにきてほしいな。

まい日 トイレそうじ

場面絵 1

- ・どうぶつのしごとを したかったのに。
- ・なんでトイレそうじをしないとイケないのだろう。
- ・どうぶつがすきだからきたのに。

11/11

だい21かい どうとくじゆぎょう

やるべきことをしっかりと

カバえんちよう

「おきやくさんの トイレそうじだよ。」

「おきやくさんの トイレそうじだよ。」

- ・しゆくだい
- ・きゆうしよくをたべる
- ・かかりのしごと
- ・きゆうしよくとうばん

「おきやくさんの トイレそうじだよ。」

「おきやくさんの トイレそうじだよ。」

「おきやくさんの トイレそうじだよ。」

やるべきことをしっかりと カバえんちよう)

①あなたにとって、やるべきことはなんですか。

②やるべきことをどんなままでやっていきたいですか。